

資料Ⅰ

議題(Ⅰ)

令和7年度(令和6年10月－令和7年9月)

地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月19日

協議会名： 八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
京成バス千葉イースト株式会社	コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 市街地循環コース（13.9km） 北コース・朝B便のみ（7.2km） 北コース・朝B便除く（30.9km） 西コース（40.9km） 南コース（32.3km） ※系統kmはコースにおける最小値 運行回数： 12回／日（市街地） 1回／日（北・朝B便のみ） 8回／日（北・朝B便除く） 8回／日（西） 9回／日（南） 運賃：200円 ※南コースについては、補助対象外であるが、包括的な目標設定をしているため、ふれあいバス全体としての評価を記載しています。	地域公共交通計画の再編に伴う基礎調査を実施するにあたり、乗車人数以外のデータを収集・確認し、ふれあいバスの再編等に活用している。 また、今後利用者となりうる住民等に対する新たな取組としては、既存の出前講座やコミュニティバス利用促進の周知は実施しているが、新たな取組としては現在検討中である。	A 計画通り事業は適切に実施された	B 指標①ふれあいバス年間利用者数：86,000人 実績：98,560人 前年度年間利用者数人94,562人と比較し3,998人の増加であり、目標値を達成することができた。 利用者の定着が進んだことと、新型コロナウイルス感染症の影響も薄れたことで、徐々に利用者は増加している。 指標②公共交通に係る市の年間財政負担額：52,201千円 実績：92,284千円 指標の財政負担額を40,083千円上回り、目標値を達成することができなかった。 主な要因としては、物価高騰等の影響により、運行経費が%上昇している。また、公共交通計画の再編に伴う、基礎調査委託業務を実施したことによる。 なお、令和6年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、運行継続が困難となった民間バス路線である「八街循環線」へ4,000千円の補助を実施した。	年間利用者数は、前年に引き続き、目標値を達成することができたことから、更なる利用促進に努めていきたい。 市の年間財政負担額は、昨今の物価高騰の影響や人件費の高騰等により、年々運行経費が上昇している状況であることから、経費の削減について検討をする。 また、令和8年10月より、コミュニティバス「ふれあいバス」の再編を実施予定であることから、市の財政状況を鑑み、運行内容の見直しを実施し、利便性を維持しつつ、運行経費を削減するとともに、利用者に対して再編内容を広く周知し、利用者数が減少しないように努めていく。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月19日

協議会名：	八街市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	八街市は、非線引き地域であることから、公共交通を含む都市基盤整備が進んでいない郊外型のミニ開発を中心に人口が増加してきたという経緯があり、本市の公共交通は、自動車を運転できない高齢者や子供といったいわゆる交通弱者、特に郊外に住む交通弱者にとって、日常生活を送る上での重要な役割を担っている。 本市は現在、コミュニティバスである八街市内循環バス(愛称ふれあいバス)の運行委託やデマンド型乗合タクシーの実証運行事業、民間路線バスへの運行補助などを実施しており、財政負担も大きい状況にあるが、今後も上昇が予想される高齢化率を踏まえれば、公共交通の重要性はますます高まっていくものと考えられる。 このような状況において、本市の生活交通ネットワークを確保するためには、ふれあいバス、デマンド型乗合タクシー、民間路線バス、タクシー、鉄道など、それぞれがもつ運行特性や役割に基づき、相互に補完しあうことが必要であり、特にふれあいバスについては、地域の生活を支え、公共交通空白地域の解消を担う支線路線の役割として定着していることから、今後も地域内フィーダー系統として安定的な確保維持をしていくことが必要である。

令和7年度 八街市地域公共交通活性化協議会（千葉県八街市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

八街駅と榎戸駅を結ぶJR総武本線、3事業者による民間路線バス4路線がJR八街駅を発着しているほか、タクシー事業者2社が市内に営業所を構えている。また、コミュニティバス(愛称:ふれあいバス)も運行しており、令和3年5月に八街市地域公共交通計画を策定し、この計画に基づき、10月に一部路線の見直し及びダイヤの改正を行ったところである。

交通不便地域の解消や公共交通が不便なことを要因とする人口流出がないようにすること、また、今後さらに進む高齢化社会に対応した公共交通サービスの確保・維持が必要である。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

八街市における地域公共交通の将来像である『日常生活の「お出かけ」を支える公共交通サービスによるまちづくりの実現』を目指し、「まちづくりと連携した地域をつなぐ公共交通ネットワークの構築」、「公共交通機関相互の連携による誰もが利用できる環境整備の推進」、「多様な主体の連携による持続可能な公共交通の構築」を基本方針としている。

定性的な目標として、「各交通モードの機能・役割の明確化」、「公共交通機関の強化による市民の外出機会の創出」、「利用しやすい公共交通環境の整備」、「分かりやすい公共交通の実現」、「地域全体で支える持続可能な公共交通の構築」を掲げている。

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

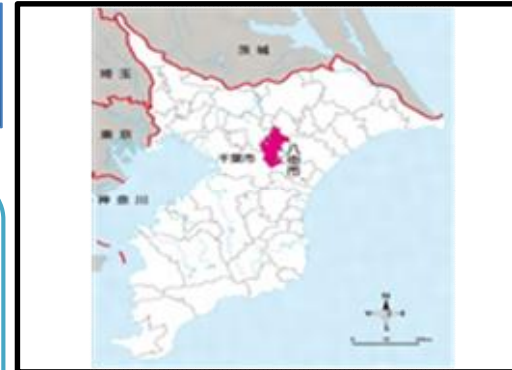
市街地循環コース・北コース・西コース・南コースの4コースからなるふれあいバスを「地域内フィーダー系統」として運行し、市民の生活の足となる路線の安定的な維持確保を行った。(南コースは補助対象外)

新たな公共交通施策として、デマンド型乗合タクシー実証運行事業を令和5年10月より運行を開始し、交通空白地帯の改善に向けて、調査・研究中である。

バスの利用促進やこころのバリアフリーを育むことを目的として、市内小学校の児童を対象に、「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」を実施した。

アピールポイント

毎年、市内小学校の児童を対象に実施している「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」については、教育委員会や小学校、社会福祉協議会、バス事業者等の協力を得て実施している協働事業であり、モビリティマネジメントの観点からも有効な事業だと捉えている。児童達からも好評であるため、今後も引き続き実施していく。



面積	74.94 km ²
人口（R7.4.1時点）	66,607人
15歳未満	5,479人
65歳以上	22,078人
高齢化率	33%

交通計画の計画期間

令和3年5月～

令和8年3月

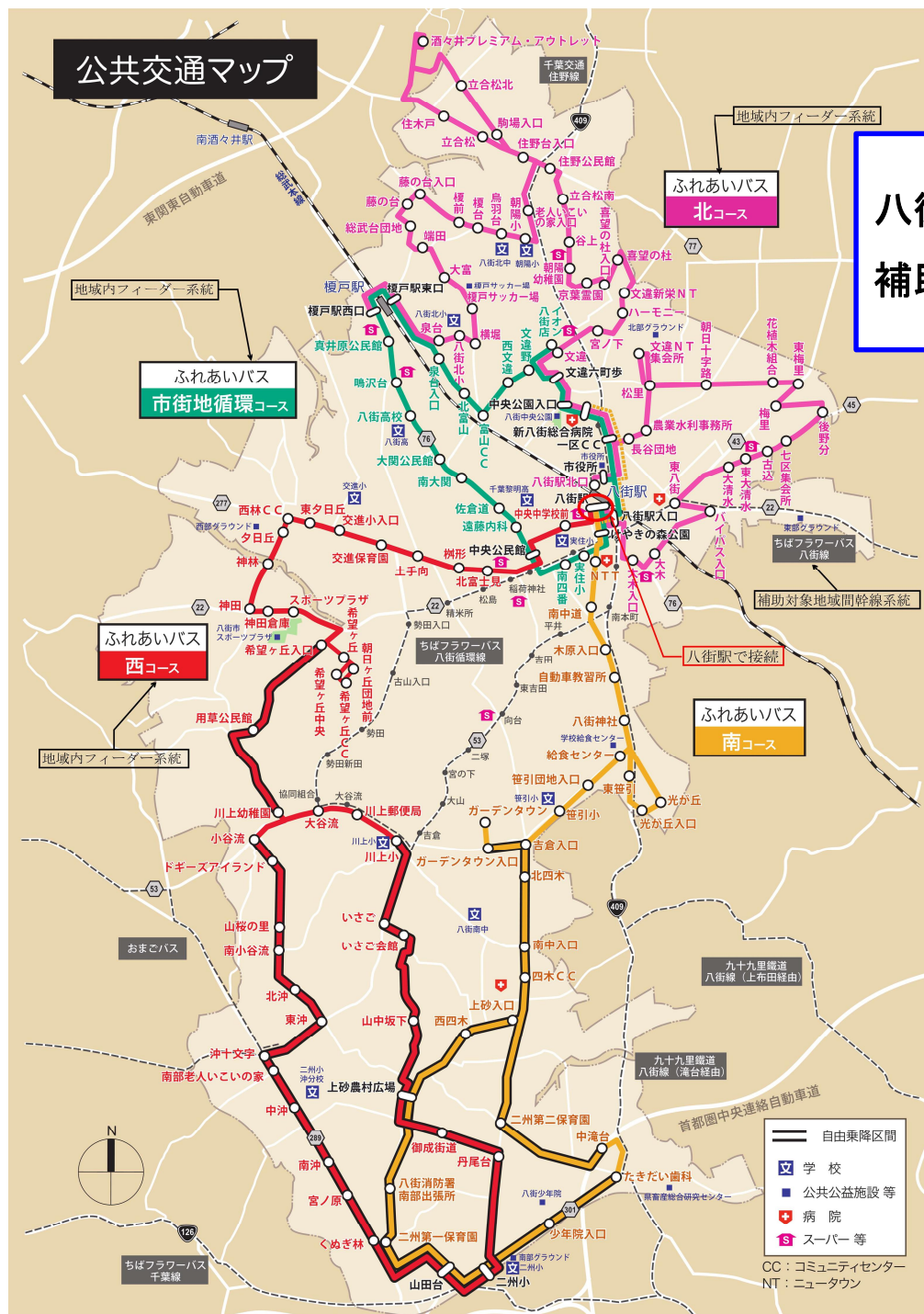
協議会開催状況

(令和7事業年度に係るもの)
・別紙参照

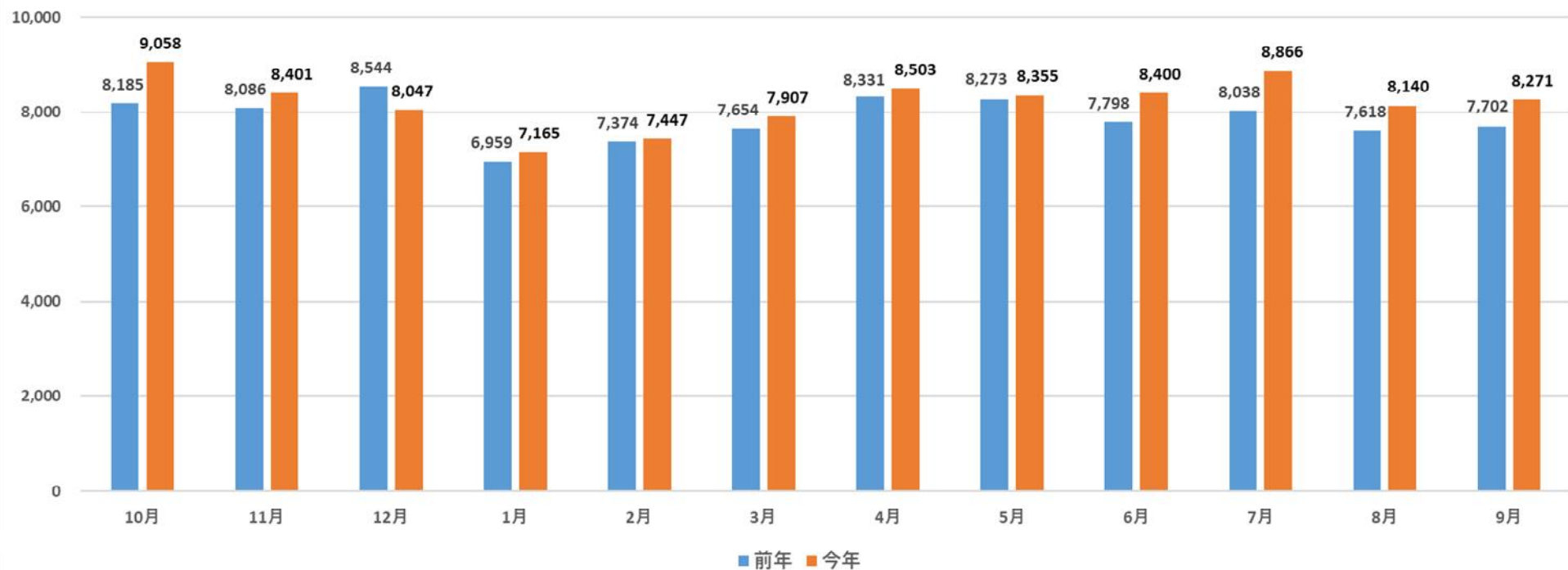
公共交通マップ

八街市公共交通体系図(令和3年10月4日～)

補助対象コース: 市街地循環コース・北コース・西コース



令和7年度ふれあいバス乗車人数実績推移（補助対象事業期間：R6.10～R7.9）



	年間乗車人数	前年比
前年	94,562	104.2%
今年	98,560	

◆(令和6年度)

第3回 令和7年1月29日(書面開催)

議 題

- (1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- (2) ふれあいバス停留所の移動について

第4回 令和7年3月24日(書面開催)

議 題

- (1) 令和7年度八街市地域公共交通協議会事業計画(案)について
- (2) 令和7年度八街市地域公共交通協議会歳入歳出予算(案)について
- (3) 令和7年度地域間幹線系統補助に係る地域公共交通計画の変更認定申請について

◆(令和7年度)

第1回 令和7年4月28日(書面開催)

議 題

- (1) 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金)に係る地域公共交通計画の変更届出書について

第2回 令和7年6月19日

議 題

- (1) 令和6年度事業報告及び令和6年度歳入歳出決算の認定について
- (2) 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請について
- (3) 令和8年度地域間幹線系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請について

その他

- (1) 八街市地域公共交通再編等策定業務について
- (2) 八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業について

第3回 令和7年10月24日

議 題

- (1) 令和7年度歳入歳出予算の補正について
- (2) 八街市地域公共交通計画の策定について

その他

- (1) ふれあいバスの運賃の値上げの検討について
- (2) 八街市地域公共交通計画に関する基礎調査報告書の追加内容について
- (3) デマンド型乗合タクシー「チョイソコやちまた」について
- (4) バスの乗り方・交通バリアフリー教室の実施について

第4回 令和7年12月19日

議 題

- (1) 令和7年度（令和6年10月-令和7年9月）地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について
- (2) 八街市地域公共交通計画について
- (3) ふれあいバス再編案について

その他

- (1) ふれあいバスの運賃改定について
- (2) 障がい者手帳等で利用できる運賃の割引・助成について
- (3) バスの乗り方・交通バリアフリー教室の開催について（報告）